

評価番号	第 19-B-001 号	技術の名称	津波対応型係船装置
技術の種類	要素技術	依頼者	株式会社三井 E&S 鉄構エンジニアリング

技術の特徴

津波対応型係船装置は、通常の係船リングと同様に常時の利用が可能で、津波襲来時には係船リング部分のみが自動的に分離され、内蔵されているロープが伸びる事により漁船の流失を防ぐ係船装置です。

対象漁船は総トン数 10t 未満の小型船で、想定される津波の高さと係留方法に応じて内蔵ロープの長さを調整することにより、全国の漁港において設置が可能です。

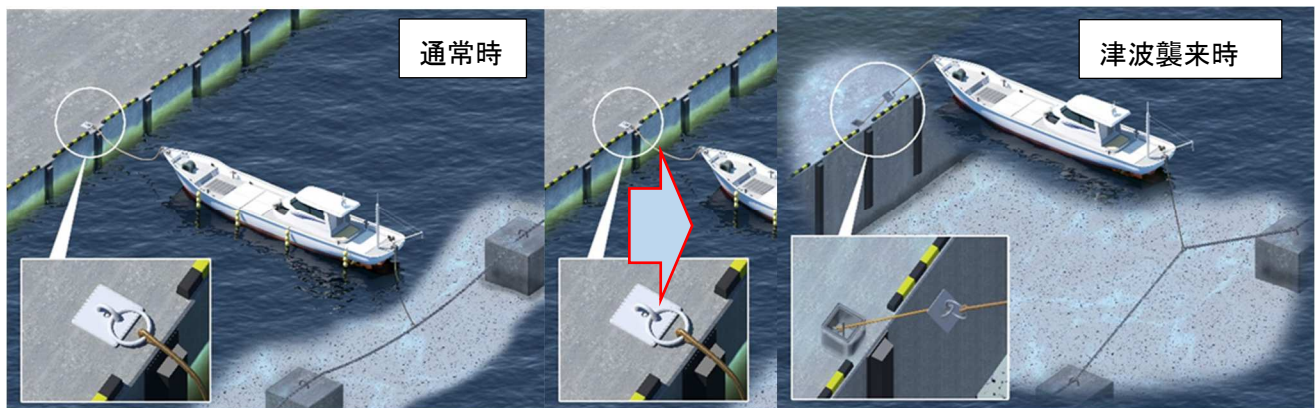


図-1 係船装置作動イメージ

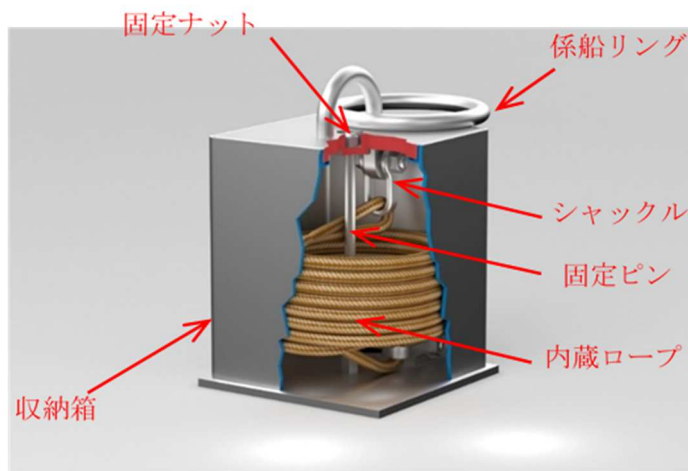


図-2 津波対応型係船装置構造図

評価結果

- (1) 想定している津波条件下において係船装置が作動することが確認された。
- (2) 想定している津波高さにおいて係留または流出を防止できることが確認された。
- (3) 現場では特殊な技能や機械を使用せずに設置できることが確認された。
- (4) 目視及び簡易な計測で点検できることが確認された。
- (5) 適切な維持管理を行うことで本体構造は 45 年の耐久性を有することが確認された。